

早稲田大学 大学院法学研究科
2018年度 修士課程入学試験問題（国内受験）
【小論文】

社会人研究課題

「国際海事問題の実務と法」

次の各問から一問を選び、論述してください。

（答案冒頭に、選択した問題の番号を明記してください。）

- ① 商法（運送・海商関係）および国際海上物品運送法の改正法案について
（具体的なテーマを任意に一つとりあげて論じてください。）
- ② 実務における「サレンダーB/L（元地回収船荷証券）」の利点と問題点について
- ③ 船荷証券と引き換えずに運送品を引き渡す「保証渡し」の慣行について
- ④ 海上保険契約における告知義務のあり方について
質問応答義務と自発的申告義務のいずれが優れているか
- ⑤ 共同海損制度の現代における必要性および合理性について
- ⑥ 船主責任制限制度の合憲性について
- ⑦ 定期傭船契約規定を日本商法に設ける意義について
- ⑧ 船舶に関する環境規制の意義と課題について

以 上

答案の書き方（横書） 「六法」の使用を（認める）